

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-43	第3回墨田区基本計画等有識者懇談会		
開催日時	平成27年12月10日(木)午後6時30分から午後8時30分まで			
開催場所	区役所庁議室			
出席者数	9人 【外部有識者】 有田智一、大豆生田啓友、久保田福美、羽生冬佳 藤林慶子、村上正浩 【区】 高野祐次(副区長)、関口芳正(企画経営室長) 岩瀬均(企画経営室参事)			
会議の公開 (傍聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 公開(傍聴できる)	<input type="checkbox"/> 部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	2人
議 題	1 副区長あいさつ 2 意見交換 (1) 「“夢”実現プロジェクト」の骨子について (2) 「施策の達成をはかる指標」の設定について 3 その他、連絡事項等			
配 付 資 料	資料1 出席者名簿 資料2 墨田区基本計画“夢”実現プロジェクト(骨子案) 資料3 墨田区基本計画施策の達成をはかる指標(案) 参考資料1 山本亨区長マニフェスト 参考資料2 現墨田区基本計画のリーディングプロジェクト 参考資料3 墨田区基本計画施策体系 参考資料4 欠席者のご意見等について			
会 議 概 要	1 開会 2 副区長あいさつ 副区長から、懇談会開催に当たってのあいさつを行った。 3 「“夢”実現プロジェクト」の骨子について 企画経営室参事から、資料2「墨田区基本計画“夢”実現プロジェクト」を用いて説明を行った後、意見交換を行った 【主な意見等】 (1) 全体について			

- ・ 「すみだにしかできないもの」の書き込みを充実させるべき。
- ・ 平仮名表記の「まちづくり」は、建築学等では「ひとづくり」、「ことづくり」や「仕組みづくり」を含む概念と捉えることが一般的である。「まちづくり」と「ひとづくり」を別個に扱うならば、用語の定義づけをした方が良いのではないか。

(2) シティプロモーションについて

- ・ 「愛着の醸成により、区民一人ひとりが自然とプロモーターとなる」ということは、各プロジェクトの「ひとづくり」に含まれるのではないか。
- ・ シティプロモーションは「まちに土台（既に出来上がっているもの）があり、それを区内外にどのように見せていくか」ではないか。このことから、図中では、シティプロモーションは3つのプロジェクトの上に置かれるべきではないか。

(3) 「“夢” 実現プロジェクト」の指標設定について

- ・ いくつかの指標を点数化した合成指標を上手く作ることができるのであれば、指標を置いても良いのではないか。
- ・ 各施策の指標よりも、もっと大きな括りの指標とした方が良いのではないか。

(4) プロジェクト1「暮らしたいまち」の実現

ア 子育て支援を充実させ、笑顔があふれるまちをつくります

- ・ 「子育て支援」ではなく、国の趣旨に合わせて「子ども・子育て支援」というフレーズを用いたらどうか。
- ・ 教育現場では「知・徳・体」ではなく、もっと広い概念の「まなび、こころ、からだ」という表現を用いている。「知・徳・体」というフレーズを使うにしろ、その言葉よりもっと広い概念を想定していることを文章で補足したらどうか。

イ 地域力日本一の、住んでいて良かったまちをつくります

- ・ 本区が高齢者に限らず地域包括ケアを進める意向ならば、「高齢者の地域包括ケア」という表記から、「高齢者の」を外したらどうか。
- ・ 「燃えない・壊れない」は古びたフレーズであり、国でも用いられている「強靱化（強さとしなやかさ）」を含めた形の災害に強いまちの姿を検討してみてもどうか。

(5) プロジェクト2「働きたいまち」の実現

- ・ イクボスについては、その理念が広がり、区内企業が個々の状況に応じ「働きやすい環境づくり」を進めるまちづくりを目指せばよいのではないか。

(6) プロジェクト3「訪れたいまち」の実現

- ・ 文化にもつながるものであるので、水辺に係る記載を行ってはどうか。
- ・ 来街者視点の記載になっているが、来訪される側（住民・区内で働く人）の幸福度の高まりが大切であり、来街者との交流が住民・区内労働者にとってどのような幸福をもたらすかという視点が必要である（ものづくりと観光の融合も同様）。

4 「施策の達成をはかる指標」の設定について

企画経営室参事から、資料3「墨田区基本計画施策の達成をはかる指標(案)」を用いて説明を行った後、意見交換を行った。

【主な意見等】

(1) 100番台

- ・ 「延べ宿泊数」は、一般的に観光の指標に用いることが多く、指標として用いてはどうか。
- ・ 120の指標全てが外国人を対象としているが、来訪を受ける側(住民)の意見を踏まえる指標を設定してはどうか。
- ・ 121①・123①が連動するので、123にまとめたらどうか。
- ・ 122①は「立寄り地数」よりも「区内滞在時間」の方が適切ではないか。
- ・ 130に区民以外(区内労働者、観光客)の意見を踏まえる指標を設定してはどうか。

(2) 200番台

- ・ 211②の地区計画策定範囲は区全体のほんの一部に過ぎないうえ、面積自体では「職・住・学・遊が調和したまちづくり」ができているかどうかの指標としてどうなのか。

(3) 300番台

- ・ 311①②・312②は、施策を達成するための取組が官民様々なところで行われる中で、特定した事業を指標とするのはどうなのか(代わりに311「若手技能者の数(または就職した数)」や「区内でデザイナーがビジネスを始めた数」等)。
- ・ 322②③は質問が曖昧である(代わりに「小売吸収力指数」等)。
- ・ 331は施策の対象者(区内に住んでいる労働者か、区内の事業所で働く労働者か)を明らかにした方が指標の設定がしやすいのではないか。

(4) 400番台

- ・ 411の2指標とも建築物関係であり、エリア(地域)視点の指標設定が必要ではないか。
- ・ 411・412は住民目線だけでなく、区内労働者の視点の指標設定が必要ではないか。(例「区内事業者のBCP整備率」等)
- ・ 411②は、数値の母数を旧耐震基準の建物としてはどうか。また、住戸ベースでなく、戸数ベースで算出してはどうか。
- ・ 412②は、人・団体数よりも事業内容が大切であり、指標としてどうなのか。
- ・ 413②は、認知件数は数値自体の良悪も不明。不安感が増えた、減ったという視点の指標設定も考えられる。
- ・ 422②は、「地域福祉サービスの質」をはかる指標設定が難しいが、少なくとも市民後見人の数では、質の指標としてどうなのか。
- ・ 431②は、高齢者の就労はシルバー人材センターだけで完結するもの

	<p>ではないので、指標としてどうなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 433②は認知症ケアパスの指標とはなりえるが、包括ケアの指標としてどうなのか。 ・ 434②「待機者数」は施設に入る人の話であり、地域で暮らし続けることの指標としてどうなのか。 ・ 462②は、学童クラブの利用承認数が、子どもを健全に育成できる環境の指標としてどうなのか。 ・ 463①は、区民が児童虐待の連絡先を知っていること自体が、子ども・若者が安心して暮らせるしくみが整っている指標としてどうなのか。 ・ 463には、子どもにどれだけ注力しているかという点で、「検診に行っている比率（どれだけ検診を受けているか）」という指標としたらどうか。 ・ 471①・472①は、小学生データの併記をしたらどうか。 ・ 473は「地域に開かれた」なので、区民よりも、実際に地域で学校に関わっている人を調査対象としたらどうか。 ・ 473②のICTは教育環境の一部に過ぎず、指標としてどうなのか。 ・ 474①の代わりに「地域の中で、学校に関わる活動をしている区民の割合」を指標としたらどうか。 ・ 474②は区民アンケートではなく、「学校評価アンケート結果」の保護者意識に関わる設問を指標にしたらどうか。 <p>(5) 500番台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 513は外国人住民の満足度を調べてみたらどうか（別指標で来訪外国人満足度を調査しており、外国人住民の意識調査も行うべきと考えるため）。 ・ 541②は政策540「多様な主体が参加」に合致せず、仮に使用するならば「“夢”実現プロジェクト」の指標としたらどうか。 <p>5 その他 企画経営室参事から、次回日程等について連絡を行った。</p>
所 管 課	企画経営室政策担当